



住宅火災から大切な命を守る!

平成27年中の東京消防庁管内における住宅火災による死者数は69人でした。

住宅火災の主な死者発生原因として、たばこ・こんろ・ストーブがあげられます。火災を防ぐポイントを確認して尊い命を守りましょう。



住宅火災での主な死者発生原因!

たばこ 死者数 16人

たばこによる火災防止ポイント!

- ☐ 寝たばこは、絶対にしない
- ☐ 飲酒→喫煙→うたた寝に注意
- ☐ 吸殻を灰皿にためない
- ☐ 吸殻は水で完全に消してから捨てる
- ☐ 火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する

たばこによる火災の事例

飲酒後、布団の上で喫煙し、たばこの火種が落下したことに気づかずに就寝したため、火災となった。



たばこによる住宅火災が原因で亡くなった方の88%は「たばこの火種の布団類等への落下」が原因です。

こんろ 死者数 7人

こんろによる火災防止ポイント!

- ☐ 調理中に離れない
- ☐ 周囲に燃えやすいものを置かない
- ☐ 火が鍋底からはみ出さないように調節する
- ☐ 防災製品のエプロンやアームカバーを使用する
- ☐ 安全機能(Siセンサー)付きこんろを使用する

こんろによる火災の事例

調理後ガステーブルの火を消さず放置したため、周囲の台所用品に着火し火災となった。



こんろによる住宅火災が原因で亡くなった方の57%は「着衣への着火」が原因です。

ストーブ 死者数 7人

ストーブによる火災防止ポイント!

- ☐ 周囲に燃えやすいものを置かない
- ☐ 外出時、就寝時は必ず消す
- ☐ 石油ストーブ等は必ず消してから給油する
- ☐ 洗濯物を乾かすために使用しない
- ☐ 使わないときは電源プラグをコンセントから抜く

ストーブによる火災の事例

居住者は、電気ストーブをつけたまま就寝してしまい、掛布団が電気ストーブに接触したため、火災となった。



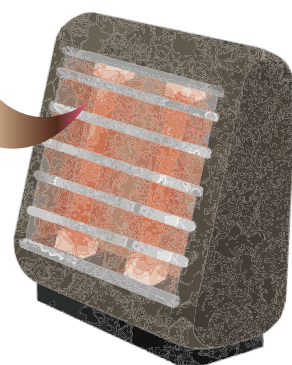
ストーブによる住宅火災が原因で亡くなった方の57%は「電気ストーブ」が原因です。

電気ストーブ火災注意報発令中!

電気ストーブによる火災は、毎年80件程度発生しており、電気製品等では最も多く死者が発生しています。中でも死者の70%が75歳以上の後期高齢者です。一人暮らしで、就寝中の火災により亡くなった方が多いことも特徴です。手軽で一見安全に思われる電気ストーブですが、注意して使用することを心がけてください。

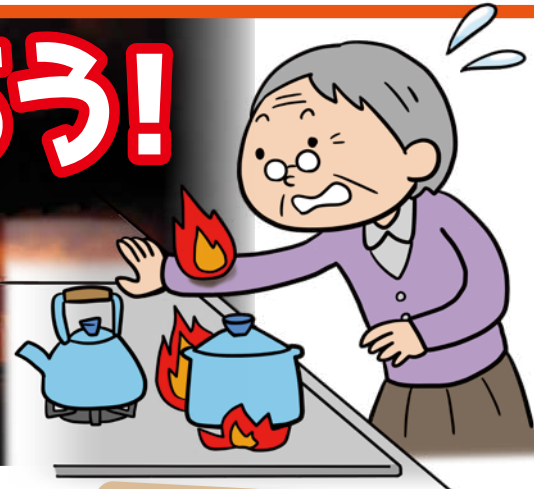


手軽ですが
取り扱いには注意
しましょう。



高齢者を火災から守ろう!

住宅火災による死者のうち65歳以上の高齢者の割合は、7割以上を占めます。高齢者は、火災に気づくのが遅れたり、避難に時間がかかることが多く、被害が大きくなる可能性があります。火災に対する備えで、安全・安心な生活へとつなげることが大切です。



火災への
備え
1

住宅用火災警報器を設置しましょう。

火災が起きたとき、いち早く気づくことがとても重要です。住宅用火災警報器は、火災を早期に発見して知らせることであなたとあなたの家族を守ります。

東京都では条例により、住宅用火災警報器は、すべての住宅の全ての居室、台所、階段に設置が義務づけられています。しかし2割弱の住宅では、まだ設置されていません。未設置住宅と設置済み住宅では、死者数・平均損害額・平均延焼面積共に約3倍の開きがあります。

10年を過ぎている住宅用火災警報器本体は、電子部品の寿命や電池切れ等により、火災を感知できなくなることがあるので、メーカーでは10年を目安に交換をおすすめしています。

住宅用火災警報器は
火災を早期発見し
命を守ります!



FIRE NEWS 奏功事例

住宅用火災警報器を 設置していて良かった!

就寝中に住宅用火災警報器の警報音で目を覚ますと、居室内で火が見えたので消火した。電気コードが、家具等の踏みつけにより、被覆が損傷してショートし、周囲のごみくずに着火し出火していた。



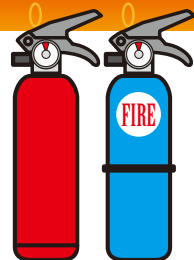
火災への
備え
2

ご家庭に消火器を備えましょう。

住宅用消火器による初期消火は、火災の被害の抑制に非常に効果的です。

住宅用消火器

一般住宅向きの小型で軽量の消火器で、女性や高齢者にも簡単に使用できます。また、本体の塗装は赤色だけでなく、様々な色があります。



エアゾール式簡易消火具

初期の火災を消火するためのものです。

スプレー式で片手で簡単に使用できます。



⚠️ ご注意 ※住宅用消火器には使用期限(主なメーカーは5年)が定められています。 ※消防職員が住宅用防災機器を販売することはありません。悪質な訪問販売等にご注意ください。



急な病気やケガで 病院へ行く? 救急車を呼ぶ? 迷ったら?



電話
で相談

東京消防庁救急相談センター

7 1 1 9

つながらない場合... 23区 ▶ 03-3212-2323 多摩地区 ▶ 042-521-2323

[24時間受付・年中無休]

携帯電話 PHS プッシュ回線
救急相談医療チーム(医師・看護師・救急隊経験者等の職員)が、対応します!

救急相談センターの主なサービス

- 症状に基づく緊急性の有無のアドバイス
- 受診の必要性に関するアドバイス
- 医療機関案内(受診する科目)



ネット
でガイド

東京版 救急受診ガイド

救急受診ガイド

検索

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>

質問方式で簡単です! 病気やケガの緊急度や受診する科目が、東京消防庁ホームページで確認できます!



携帯電話は
こちらから



スマートフォンは
こちらから



冊子版

冊子版は全ての消防署にあります。ご利用ください。

※ 緊急性があると思われる場合は、ためらわず救急車(119番)をお呼びください!

火災への
備え
3

防災製品を使いましょう。

防災製品には防災製品ラベルがついています。

非
防
災
製
品

防
災
製
品

防災製品は、火が接しても着火しにくく、燃え広がるのを防ぎます。防災製品には寝具類、エプロン、アームカバーなどがあり、防災館ほかホームセンター等で購入ができます。

安全のため
おいしいちゃん
おばあちゃんに
防災製品を
贈ろう!



防災製品ラベル



寝具類



エプロン

※防災製品について詳しくは最寄りの消防署におたずねください。

住まいの防火防災診断!



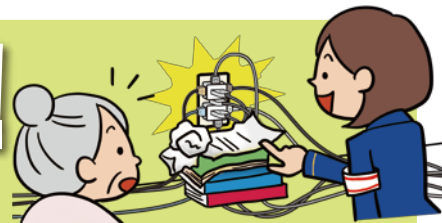
東京消防庁では、高齢者や身体が不自由な方のお宅を訪問し、火災・地震等の災害や家庭内事故による被害の発生危険についてチェックし、その改善方法のアドバイスなどを行っています。

安全・安心な生活を送るため、民生児童委員など地域の皆様と連携した防火防災対策です。ご相談・ご質問等は、お気軽に最寄りの消防署にお問合せください。

診断項目
の一例

- 【火災予防】暖房器具やガスコンロなどの使用状況、住宅用火災警報器の設置状況など
- 【地震対策】家具類の転倒・落下・移動防止対策の実施状況など
- 【家庭内事故】階段、床等の転倒危険個所の状況、浴室内事故の危険性など

※診断を行う場合は必ずご本人の同意をいただきます。



発見された危険例

- ◆こんろの周りに可燃物が多くあり、引火の危険性があった。
- ◆ガスストーブのホースに亀裂があり、ガス漏れの可能性があった。
- ◆固定されていない家具がベッドの上に転倒する危険性があった。



119番通報のかけかた

11月9日は、「119番の日」です。「119番の日」は、消防への正しい理解と認識を深め、防災意識の高揚を図ることを目的として制定されました。



通報時はあわてず・はっきり・正確に!!

まずは落ち着いて通報してください!

119番通報の際に、「火事ですか?救急ですか?」をはじめ必要な情報をおたずねします。

また救急の場合、状況により必要な応急処置を指導します。



火災



火災の場合に
おたずねすること

- ◆住所(近くの目標物・ビル等の場合何階か?)
- ◆何が燃えているか?



救急の場合に
おたずねすること

- ◆住所(近くの目標物・ビル等の場合何階か?)
- ◆誰がどうしたのか?
- ◆通報者の氏名・電話番号



救急

秋の火災予防運動

11月9日(水) ～ 11月15日(火)



新春を飾る!平成29年東京消防出初式

【実施日】平成29年1月6日(金)9時30分から 【場所】東京ビッグサイト(江東区有明)

音楽隊とカラーガーズ隊による華やかなパレードに始まり、消防車両の迫力ある行進、都民の方も参加するダイナミックな消防活動演技、江戸消防記念会による伝統のはしご乗りなどをご披露します。

屋内展示場では、消防資器材の展示、消防車両の乗車体験、ミニコンサートなども行います。

東京消防出初式に1,800名様をご招待

今回は、立見席を減らして、ゆっくりご覧いただける椅子席を増やしました。抽選で合計1,800名様を「平成29年東京消防出初式」の指定席(椅子席)にご招待します。みなさんのご応募をお待ちしています。

※自由席(椅子席・立見席)も3,000席をご用意していますが、満席となった時点で入場を制限させていただきます。(開場8時00分)

＜応募方法＞ 往復はがきに

■希望席種別【家族席(3～5名の人数)、ペア席、個人席】

■代表者の住所・氏名・席が必要な方全員の名前を明記の上、下記の宛先へご応募ください。

＜宛先＞〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-1
KDDI大手町ビル内郵便局留め
東京消防庁 出初式担当

＜締切＞平成28年11月10日(木)必着

※応募の詳細は、東京消防庁ホームページ、フェイスブック、ツイッターに掲載しています。



Miniコラム

秋の火災予防運動11/9～11/15

火災予防運動は、都民のみなさまに防火防災に関する意識や防災行動力を高めていただくことで、火災の発生を防ぎ、火災が発生した場合は被害を最小限にとどめ、火災から尊い命と貴重な財産を守ることを目的としています。

「秋の火災予防運動」開始日の11月9日は、119番の日になんだものです。

【消防演習を行います。】

一日消防署長に元サッカー日本代表FW 武田 修宏(たけだ のぶひろ)さんをお迎えし、大規模な消防演習を実施して消防隊・消防団等とともに火災予防を呼びかけます。

＜日時＞平成28年11月9日(水)

9:20～12:00

＜場所＞ららぽーと立川立飛

(立川市泉町935-1)

＜イベント内容＞自衛消防訓練、消防演習、広報展示、音楽隊コンサート、防災トークショー等 お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。



平成28年秋の火災予防運動ポスター

お楽しみプレゼントコーナー

ご応募いただいた方の中から抽選で119名様に「東京消防庁オリジナルブランケット」をプレゼント!!

＜応募方法＞

ハガキに①住所②氏名③年齢④性別⑤職業⑥広報とうきょう消防をご覧になった感想をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。

〒100-8119

(住所不要)

東京消防庁広報課

「広報とうきょう消防」

編集担当

＜締切＞

平成28年11月7日(月)必着

(応募はお1人様につき1枚とさせていただきます。)

＜当選発表＞プレゼントの発送をもって発表といたします。

※応募の際にご記入いただきました個人情報につきましては、抽選及びアンケート集計事務にのみ使用させていただきます。

前回(第22号)プレゼントコーナーへのたくさんのご応募ありがとうございました。



600×900mmで
便利な
収納ホルダー付!

東京消防庁オリジナルブランケット
※色は選べません。



たくさんのご応募
お待ちしております!

